

1. 科目名 (単位数)	社会科指導法 (2単位)	3. 科目番号	EDEL3316
2. 授業担当教員	福島 裕		
4. 授業形態	講義、討議、レポート、模擬授業	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育実習前に履修しておくことが望ましい。		
7. 講義概要	小学校社会科の指導法に焦点化して、実践的な指導力を身に付ける。そのために、まず小学校社会科及び各学年(3年生以上)の目標と内容について、確実に理解する。次に、各学年の年間計画と各単元の指導計画の作成について具体的に検討する。さらに、これらの指導計画の学習をもとにして1単位時間の指導案づくりと模擬授業を行う。そして、これらの学習を通して、児童が社会的事象に興味・関心をもって、主体的に社会科授業に取り組み、確かな学力を身に付ける指導法について学修する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育課程の基本的事項について理解し、その知識を活用できる。</li> <li>2. 学習指導要領の性格、教科書について理解し、教科指導法に向けて適宜参照できる。</li> <li>3. 学習指導要領の改訂の歴史について理解し、現代日本の教育課程を位置づけられる。</li> <li>4. 現行の学習指導要領の特徴を理解し、発展的に考察できる。</li> <li>5. 教育評価の基本的事項について理解し、各評価の意義を考察できる。</li> </ol>		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前に「小学校学習指導要領社会編」等の目標と内容に応じた教科書教材(単元)との整合性を確かめておく。</li> <li>○模擬授業前に学習指導案を作成し提出する。</li> <li>○協力して教材等を作成し、問題解決的な学習過程を導入し、発問・板書等を工夫した学習指導案を作成し、模擬授業を実施できるようにすること。</li> <li>○レポート課題：テーマについては後日指定する。</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版 <b>【参考書】</b> 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成績評価の規準             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 問題解決的学習について理解し、説明できるか。</li> <li>2 社会科の学習指導案の形式・内容について理解し、学習指導案を作成できるか。</li> <li>3 問題解決的学習を導入し、指導法を工夫して模擬授業を行うことができるか。</li> </ol> </li> <li>○評定の方法              [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する]             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への積極的参加 総合点の30%</li> <li>2 課題レポート・作成した資料・討論 総合点の70%</li> </ol> </li> </ul>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本科目は、小学校教諭の資格取得のために学ぶ教科です。教師としての熱意や実践的な指導力を高めるために、以下の点に留意して授業に取り組んでほしい。</li> <li>ア 事前・事後の学習は必ず行い、課題を明確にして授業に臨む。</li> <li>イ それぞれの教材が、児童にとってどのような意味を持っているのか、常に考える習慣を身につける。</li> <li>ウ 社会的事象への関心を高め、社会人として必要な知識や教養を身につける。              例 日本や世界の現状を理解し、豊かな知識と深い考え方ができるようにするとともに、教材を多面的にとらえ、児童の発達段階に即した教材づくりができるようにする。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 社会科とは何か～社会科の歴史と領域 これまでの社会科学学習の経験を踏まえ、社会科教育の目標を理解し、望ましい社会科指導法について考える。	事前学習	これまで経験した社会科の授業を想起し、教科書「社会編」の目標等を読んでおく。
		事後学習	本時の学習を振り返り、社会科教育の在り方を整理する。
第2回	楽しい社会科授業とは(問題解決的学習を中心に)社会科の指導法の課題について学び、意欲的で楽しい授業づくりを考える。	事前学習	社会科教育の重要概念を調べる。
		事後学習	問題解決的学習を中心とする社会科指導の在り方を整理する。
第3回	授業はどのようにしてできるか～教育内容と教材教材の役割が大きいことを理解し、資料をもとに考えを深めることができる学習過程を学びあう。	事前学習	社会科の学習指導案を調べておく。
		事後学習	教材分析の仕方を整理する。
第4回	社会科学習の学習過程の累型(探究学習を中心に)指導計画の作成の仕方を知り、その視点から社会科指導の実際を記録から学び、話し合う。	事前学習	社会科学習の指導計画の在り方を調べておく。
		事後学習	問題設定場面をどのように作るか整理する。
第5回	地域素材を活用した模擬授業の計画 児童の実態を想定し、地域を教材とした授業計画を立てる。資料収集のための役割分担をする。	事前学習	指導案作成のため、授業記録を読んでくる。
		事後学習	子どもの活動を保障する展開の在り方をまとめる。
第6回	地域調査に基づき資料の整理をする 授業計画に基づき、現地調査や情報機器を活用した教材化を図り、模擬授業の指導案を作成する。	事前学習	現地を訪れ、地域素材の資料を収集する。
		事後学習	不足している資料を分担して収集する。
第7回	模擬授業の実践①(視点・地域素材を活かす) 中学年の内容を扱った模擬授業を行い、授業後は相互評価を行う。	事前学習	指導案、学習資料を完成させておく。
		事後学習	模擬授業の感想や課題を発表する。

第8回	教材・授業分析の方法 社会科の教材分析について、これまでの研究の成果を学び、自分なりの考えを持てる。	事前学習	過去の研究論文から教材分析の方法を調べておく。
		事後学習	教材分析の方法を整理する。
第9回	模擬授業の実践②（視点・単元指導計画と本時案） 単元全体の指導計画と本時の指導案の位置付けやねらいを明確にした指導案を作成する	事前学習	小単元計画と本時の展開を構想しておく。
		事後学習	基本的な形式を整えた学習指導案を作成する。
第10回	模擬授業の実践③（視点・評価の具体的な手立て） 評価規準を確定し、学習目標を明確にするとともに、学習指導案に評価の観点、評価内容、評価の手立てを明示する。	事前学習	目標及び評価規準について調べてくる。
		事後学習	目標、指導上の配慮事項における評価の場面と手立て、評価規準の整合性を確かめ修正しておく。
第11回	模擬授業の実践④（視点・社会科指導と教材の役割） 教材分析を行い、子どもに何を学ばせるのか明らかにし、教材の適切な選択を行う。	事前学習	必要な資料の準備と分析を行っておく。
		事後学習	教材の意義について、話し合ったことをまとめておく。
第12回	模擬授業の実践⑤（視点・指導と発問） 指導上の留意点を理解し、本時の展開を構想し、主発問や補助発問を考え模擬授業の指導案を作成する。	事前学習	発問の意義について調べる。
		事後学習	模擬授業の具体的な発問を整理し、まとめておく。
第13回	模擬授業の実践⑥（「視点・ICTを活用した授業」） 情報機器や教材の活用を含めた指導案をもとに、模擬授業を行い、授業後は相互評価を行う。	事前学習	ICTを活用した第5学年の授業展開を考えてくる。
		事後学習	第5学年の模擬授業を行い、相互評価したことを整理する。
第14回	模擬授業の実践⑦（視点・先人の業績や優れた文化遺産を活用した授業） 人物や文化遺産を活用した指導案をもとに、模擬授業を行い、授業後は相互評価を行う。	事前学習	人物や文化遺産を資料とした歴史分野の授業展開を考えてくる。
		事後学習	歴史分野の模擬授業を行い、相互評価したことを整理する。
第15回	社会科指導法のまとめを行う。 新学習指導要領が目指す社会科教育のあり方を考える。	事前学習	模擬授業から得られたことを整理してくる。
		事後学習	社会科指導法で学んだことを今後どう生かすか、レポートを書く。